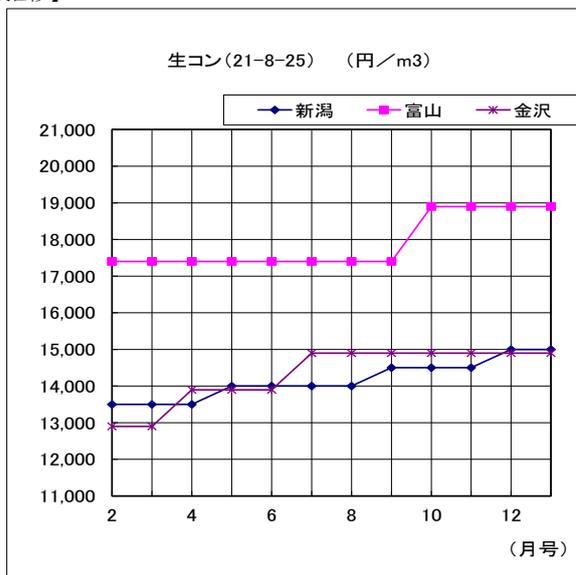
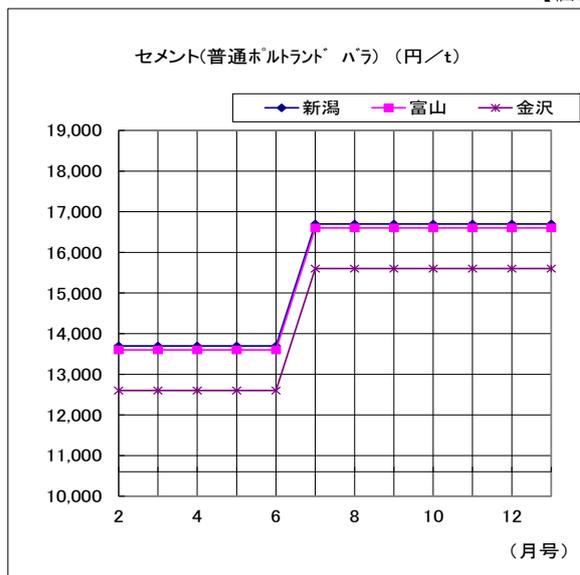


5. 主要建設資材の市況

記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部

品目	10～12月期の状況と現況	先行き
セメント	高値水準を維持 【新潟県】主要な需要者である生コンメーカーへの出荷量は昨年同時期並みとなっているが、年々減少傾向にあり、セメントの荷動きは精彩を欠いている。大幅値上げが市場に浸透して以降、販売側では目先のコスト増加に対する懸念や脱炭素社会に向けた投資等を理由に、値引きには応じない姿勢を堅持している。先行き横ばいで推移しよう。	(パ)ラ物) (新潟) ➡
	【富山県】最大需要者である生コンメーカーへの出荷は低調が続いており、セメントの荷動きは盛り上がり欠いている。供給側は、輸送コストの増加に対する懸念や設備投資への費用が必要として、需要者からの指し値に応じる場面は見られない。先行き横ばいで推移しよう。	(富山) ➡
	【石川県】原材料となる石炭価格の高騰に起因するセメントの大幅値上げが市場に浸透して以降、石炭価格は軟調に推移している。しかし、セメントメーカー各社は電気料金の上昇や輸送コストの増加を懸念し、需要者からの指し値には応じず、現行価格を維持する構え。先行き横ばいで推移しよう。	(金沢) ➡
生コンクリート	新潟地区・新川地区で価格上伸 【新潟県】新潟生コン協組では、令和4年1月と10月の2回に及ぶセメント値上げを受け、令和4年10月契約分より、m3当たり2,000円の値上げを打ち出した。骨材の値上げも徐々に浸透してきており、原材料価格が軒並み高騰している中、協組では需要者との値上げ交渉を継続している。地区内での出荷量が減少傾向にあり、非組合員へ物件が流れるケースも散見されるが、協組は数量より価格重視の方針を堅持した結果、令和5年4月・8月・11月にm3当たり500円ずつ段階的に値上げが浸透した。協組側が積み残し分を取り切る姿勢を見せるなか、非組合員においても販売価格を底上げする動きがある。先行き強含みで推移しよう。	(21-8-25) (新潟) ➡
	【富山県】新川地区生コン協組は、令和5年6月出荷分よりm3当たり1,000円の値上げを表明。当初は大口物件向けの出荷が少なく値上げの浸透に時間を要したが、民間の大型建築物件など大口物件の増加に合わせ、販売側は売り腰を強めた。需要者側では、安定供給を条件に値上げを受容する動きが主流となり、同年11月には地区内の価格がm3当たり1,000円上伸した。協組は令和6年4月出荷分より、m3当たり1,000円の値上げを追加で表明したが、度重なる値上げに対し需要者側は様子見の姿勢を示している。先行き横ばいで推移しよう。	(富山) ➡
	【石川県】金沢地区生コン協組は令和5年4月よりm3当たり1,500円の値上げを表明し、価格交渉を展開している。しかし、地区内では非組合員との受注競争があり、新価格の浸透には時間を要している。現状の価格水準ではプラント経営が成り立たないとし、協組は粘り強く交渉を続けており、先行き強含みで推移しよう。	(金沢) ➡
骨材	新潟地区で価格上伸。富山県で交渉が大詰め 【新潟県】新潟地区への供給元である阿賀野川骨材協同組合は、出荷量の低迷および電気・燃料費の高騰による製造コストの上昇を受け、令和5年4月よりm3当たり500円の値上げを表明。出荷比率の高い生コン向け骨材を優先して価格交渉を継続。新潟地区における生コン価格が徐々に底上げされてきたことを受け、年度内に値上げの一部でも獲得すべく、協組では売り腰を強め交渉に臨んだ結果価格は同年11月にm3当たり300円上伸した。協組では積み残し分の交渉を続けつつ、次年度に向け更なる値上げを検討している。先行き強含みで推移しよう。	(G-40) (新潟) ➡
	【富山県】富山県骨材販売協同組合は、令和5年4月よりt当たり300円の値上げを表明。主たる需要者である生コンメーカーの荷動きが低調に推移する中、度重なる値上げに対し需要者側は難色を示してきた。しかし、販売側は強気な姿勢を崩さず、足並みを揃え需要者との交渉を継続した結果、値上げに応じる需要者も散見され始め、交渉は大詰めを迎えている。目先、強含みで推移しよう。	(富山) ➡
	【石川県】いしかわ砂利販売協同組合は、令和5年4月よりm3当たり600円から700円の値上げを表明し、同年9月に値上げの一部が浸透した。協組は満額に達していないとして、未達分の獲得に向け需要者に対し粘り強く交渉を続けているが、需要者側の抵抗感強い。先行き横ばいで推移しよう。	(金沢) ➡

【価格推移】



品目	10～12月期の状況と現況	先行き
棒鋼	<p style="text-align: center;">横ばい推移</p> <p>【新潟県】引き合いは低調に推移しており、今のところ回復の兆しは見られない。メーカー側は電力コストや輸送コスト上昇を背景に値上げの意向を示しており、これに追随すべく販売側は値上げの機会を伺っている。需要者側は、買い急ぐことなく当用買いに徹しており、値下げ要求を匂わせているが、販売側は採算確保のため価格維持の姿勢を強めており、先行き横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県・石川県】注目される大型案件は見られず、秋需は精彩を欠いている。11月初旬にスクラップ価格がわずかに下落したものの、おおむね横ばいで推移した。需要者側の値下げ要求も見られる中メーカー側は価格を維持したため、市況は横ばいで推移した。先行き、降雪期とあって需要に明るさは見えないが、販売側は価格重視のため安値で折り合う姿勢はなく、横ばい推移が続くと見られる。</p>	<p>(異形棒鋼)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
コンクリート二次製品	<p style="text-align: center;">新潟県では、売り腰が強まる</p> <p>【新潟県】メーカー側は、セメント価格と電気料金の高騰を背景に、令和5年4月より値上げを実施し、早急なコスト転嫁が必要として製品毎に強弱をつけながら売り腰を強めてきた。需要者側は、値上げに対して抵抗感を抱きつつも、資材高騰の背景には理解を示しており、購買姿勢が軟化しつつある。競合の少ない一部の道路用製品や農業用製品においては、徐々に値上げへの理解を得ており、先行きは強含みで推移しよう。</p> <p>【富山県】県内需要は、呉東・呉西地区とも低調に推移している。メーカー側は、原材料および運搬費等のコスト上昇分が製品価格に転嫁できていないとして、値上げへの意欲を強めている。メーカー側は強気姿勢を堅持しているが、需要低迷から交渉の機会は少なく、本格的な交渉には至っていない。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】メーカー各社は、原材料コストや輸送コストの上昇により令和5年1月、7月と段階的に値上げを実施し、需要者との交渉を継続していた。需要者側は値上げに難色を示していたが、メーカー側の足並みが揃ったことで、安値を引き出せず、価格交渉は売り手優位に進展した結果、値上げの一部が浸透。販売側は一段高を目指すものの、先行きの需要に不透明感が強いいため、上値は重い。当面、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(道路用製品)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>
アスファルト合材	<p style="text-align: center;">ストアス価格の方向感乏しく、模様眺めの展開</p> <p>【新潟県】大型工事案件が少なく、維持補修等の小口需要が大半であり荷動きは低調。メーカー各社は、骨材や電気料金等の高騰が製造コストを圧迫しているとし、値上げを模索してきた。しかし、ストアス価格の下落傾向が続いていることから、需要者側の購買姿勢は厳しく、値上げの本格交渉には至っていない。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【富山県】県内における荷動きは、官民とも低調に推移している。一方、主原材料であるストアス価格は上昇一辺倒だったが、年末に入り反落している。しかし、メーカー側は依然として高値圏で推移するストアスのコスト転嫁が進んでいないとし、需要者側の値下げ要求には応じず、現行価格維持を堅持する構え。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>【石川県】メーカー側は、主原材料のストアス価格は上昇基調から下落基調に反転したものの、依然として高値圏にあるとし、製品価格への転嫁を模索している。しかし、足元のストアス価格が下落していることから、需要者側の値上げに対する拒否反応は強い。そのため、メーカー側は、値上げに慎重な姿勢を余儀なくされている。先行き、横ばいで推移しよう。</p>	<p>(粗粒-20)</p> <p>(新潟) ➡</p> <p>(富山) ➡</p> <p>(金沢) ➡</p>

【価格推移】

